

◎ 展開する事業群(1-1-1)

| | | |
|--------|-----|----------------------|
| 基本目標 | 1 | 子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり |
| 施策目標 | (1) | 母と子の健康づくり支援 |
| 基本施策分野 | ① | 母子の健やかな心と身体の育成支援 |

| 事業名称 | 事業内容(細事業) | 担当課 | 事業年度 | 18年度実績 | 17年度実績 |
|------------------|----------------------|-------|--------|--|--|
| 妊婦・周産期の母子保健事業の推進 | ○母子健康手帳の交付(☆) | こども福祉 | H17～21 | 母子健康手帳発行数 582人 妊娠11週までの早期交付 504人 86.6% 目標達成 | 母子健康手帳発行数 567人 妊娠11週までの早期交付 454人 80.1% 目標: 11週までの早期交付 80% |
| | ○妊婦健康診査(妊婦健診費助成) | こども福祉 | H17～21 | 延べ 968件の助成を行った。 | 延べ 996件の助成を行った。 |
| | ○不妊治療費助成事業 | こども福祉 | H17～21 | 実人員71人(延べ73件) | 実人員 48人(延べ54件) |
| | ○母子栄養強化事業 | こども福祉 | H17～21 | 実人員 12人(延べ66件) | 実人員 17人(延べ90件) |
| | ○パパママセミナー(マタニティセミナー) | こども福祉 | H17～21 | 実人員 106人(延べ159人) 15.6% 妊娠届出数 582人 | 実人員 75人(延べ170人) 13.2% 妊娠届出数 567人 |
| | ○子育て講座プラスワンセミナー | こども福祉 | H17～21 | 実人員 41組(夫婦) 15.4% 初妊婦届出数 267組 | 実人員 52組(夫婦) 18.2% 初妊婦届出数 285組 |
| | ○産後ホームヘルパー派遣事業 | こども福祉 | H17～21 | 実人員5人(延べ派遣時間110.5時間) | 実績無し |
| 乳幼児期の健診事業の推進 | ○3か月児健康診査(☆) | こども福祉 | H17～21 | 受診率 97.1% 受診者 573人 対象者 590人 目標: 受診率100% 未受診者の全数訪問 | 受診率 99.0% 受診者 580人 対象者 586人 目標: 受診率100% 未受診者の全数訪問 |
| | ○1歳6か月児健康診査(☆) | こども福祉 | H17～21 | 受診率 93.8% 受診者 574人 対象者 612人 目標: 受診率 95% | 受診率 93.2% 受診者 572人 対象者 614人 目標: 受診率 95% |
| | ○3歳6か月児健康診査(☆) | こども福祉 | H17～21 | 受診率 85.7% 受診者 567人 対象者 662人 目標: 受診率90%以上 | 受診率 83.8% 受診者 532人 対象者 635人 目標: 受診率90%以上 |
| | ○10か月児発達相談 | こども福祉 | H17～21 | 来所率 92.5% 来所者 543人 対象者 587人 | 来所率 90.7% 来所者 549人 対象者 605人 |
| | ○2歳児発達相談 | こども福祉 | H17～21 | 来所率 83.6% 来所者 519人 対象者 621人 | 来所率 86.2% 来所者 544人 対象者 631人 |

| | | | | | |
|------------------|---|-------|--------|---|---|
| 乳幼児期の相談事業の推進 | ○妊婦・乳幼児相談・赤ちゃんサロンの推進 | こども福祉 | H17～21 | 参加者 1005人（乳幼児984人 妊婦21人） | 参加者 852人（乳幼児841人 妊婦11人） |
| | ○発達相談 ①発達相談(来所)(☆) ②育児支援家庭訪問発達相談(★) | こども福祉 | H17～21 | 発達相談 延べ 107人 | 発達相談 延べ 87人 |
| | ○転入時アンケート | こども福祉 | H17～21 | 243人 | 260人 |
| 乳幼児期の訪問指導の推進 | ○妊産婦訪問・新生児訪問 ①保健師による訪問(☆) ②育児支援助産師家庭訪問(★) | こども福祉 | H17～21 | 訪問 99.2% 261人 第1子263人 目標：第1子を全数訪問 | 訪問 95.6% 258人 第1子270人 目標：第1子を全数訪問 |
| | ○乳幼児訪問 | こども福祉 | H17～21 | 延べ72人 | 延べ414人 |
| | ○障害のある児の訪問 | こども福祉 | H17～21 | 延べ68人 | 延べ59人 |
| 成人期～更年期の健康づくりの推進 | ○子育て期の健康診査(貧血・高脂血症等)(★) | 健康介護課 | H18～21 | 受診者:251人、受診率:26.0%(対象者数:967人) | 平成18年度から実施予定 |
| | ○妊婦歯科検診(★) | こども福祉 | H18～21 | 未実施(検討中) | 平成18年度から実施予定 |
| 健康情報システムの充実 | ○「健康手帳」の配布 | こども福祉 | H17～21 | 配付数 778冊 | 配付数 1,120冊 |
| | ○母子健康管理システムの充実 | こども福祉 | H17～21 | 母子健診システム、予防接種システムとも平成19年度改正予定 | 母子健診システム、予防接種システムとも平成19年度改正予定 |
| | ○感染症サーベイランス事業 | 健康介護課 | H17～21 | (感染症発生動向調査 京都府週報)により、週ごとの感染症情報を収集 | (感染症発生動向調査 京都府週報)により、週ごとの感染症情報を収集 |
| 健康管理システムの充実 | ○予防接種事業(☆) | こども福祉 | H17～21 | ポリオ 94.8%、MR I期88.8%、MR II期66.9% 三種混合104.3%、二種混合(II期)85.3% 日本脳炎0.2% 高齢者インフルエンザ予防接種事業:接種率49.0%(対象者数:10,376人) | ポリオ 75.7%、麻しん 103.1%、風しん 148.8%、三種混合 103.5% 二種混合(II期) 67.7%、日本脳炎 16.8% ・健康介護課は、高齢者インフルエンザ予防接種事業を実施。接種率51.1% 対象者数(9,259人) 目標:麻しんの早期接種率80%、風しんの接種率80% |
| | ○結核予防事業(☆) | こども福祉 | H17～21 | BCG予防接種率 93.2% *BCG予防接種が3ヶ月児健診と同日実施となる。健康介護課は、65歳以上を対象としている。実施数 目標: 乳児のBCG予防接種率95% | BCG予防接種率 103.6% *BCG予防接種が3ヶ月児健診と同日実施となる。健康介護課は、65歳以上を対象としている。 目標: 乳児のBCG予防接種率95% |

| | | | | | |
|----------------|--------------------------------------|------------|--------|--|---|
| | ○感染症予防対策事業 | 健康介護課 | H17～21 | 新型インフルエンザ対策研修会に出席。動物由来感染症啓発ポスターを庁内に掲示。ノロウイルスに関するQ&Aをときわ苑等に配付。HIV検査週間及びエイズ月間啓発ポスターを庁内に掲示。 | (新型インフルエンザ、ノロウイルス等)に関する研修会、連絡会議等に出席。(新型インフルエンザ)に関する予防啓発を市のホームページに掲載。(エイズ月間、ミドリガメ等は虫類を原因とするサルモネラ症発生事例に係る注意喚起)に関するパンフレットを窓口に設置。(ハンセン病療養所入所者等に関する補償金支給制度)周知のため市広報誌掲載。(エイズ)に関する予防啓発パンフレットを成人式で配付 600部 |
| 母子保健事業の拠点整備 | ○保健センター運営の充実 | こども福祉健康介護課 | H17～21 | 16年度末の保健センター増築以降、乳幼児から高齢者を対象とした各種保健事業の同日及び拡大実施をしている。 | 16年度末に保健センターの増築を行い、乳幼児から高齢者を対象とした各種保健事業及び検診相談事業の同日実施や拡大実施をすることが出来た。 |
| 母子保健事業推進体制の整備 | ○母子保健連絡会の開催 | こども福祉 | H17～21 | 平成18年度のみ未実施 | 研修会 1回実施(養護教員を講師に研修会) |
| リフレッシュのための事業促進 | ○一時保育事業の実施 (再掲1-(3)-②) | こども福祉 | H17～21 | (再掲1-(3)-②) | (再掲1-(3)-②) |
| | ○ファミリー・サポート・センター事業の推進 (再掲1-(3)-①) | こども福祉 | H17～21 | (再掲1-(3)-①) | (再掲1-(3)-①) |
| 子育てセミナーの開催 | ○妊娠期子育てセミナーの開催 (再掲1-(2)-①) | こども福祉 | H17～21 | (再掲1-(2)-①) | (再掲1-(2)-①) |

◎ 周産期医療 妊娠後期から新生児早期までの期間、母胎・胎児・新生児を総合的に

管理して母と子の健康を守る医療をいう。

◎ 展開する事業群(1-1-2)

| | | |
|--------|-----|------------------------------|
| 基本目標 | 1 | 子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり |
| 施策目標 | (1) | 母と子の健康づくり支援 |
| 基本施策分野 | ② | 保育所、幼稚園、小・中学校における健やかな身体の育成支援 |

| 事業名称 | 事業内容(細事業) | 担当課 | 事業年度 | 18年度実績 | 17年度実績 |
|----------------------|--|-------|--------|--|--|
| 保育所における児童の健康づくり | ○保育所における検診等の実施 ・内科、歯科検診 ・尿・ぎょう虫検査 ・視力測定 | こども福祉 | H17～21 | ・内科、歯科検診 各2回/年 ・尿、ぎょう虫卵検査 各1回/年 ・視力検査 1回/年 | ・内科、歯科検診 各2回/年 ・尿、ぎょう虫卵検査 各1回/年 ・視力検査 1回/年 |
| | ○食中毒等予防の推進(職員の検便、フードスタンプ) | こども福祉 | H17～21 | 職員の検便:月1回全職員 | 職員の検便:月1回全職員 |
| | ○歯みがき教室等の保健指導の実施 ・歯科衛生士による歯みがき教室 ・保育所職員に対する保健研修 | こども福祉 | H17～21 | 歯みがき教室 4回/年 保健研修 4回/年 | 歯みがき教室 3回/年 保健研修 3回/年 |
| 幼稚園における児童の健康づくり | ○市立幼稚園健康管理事業 ・定期健康診断の実施 ・歯みがき指導 | 学校教育 | H17～21 | 定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。歯みがき指導を各園で実施。 | 定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。歯磨き指導を各園で行った。 |
| | ○私立幼稚園健康診断事業(市内私立幼稚園への補助) | 学校教育 | H17～21 | 市内2園の私立幼稚園に対して、内科検診及び歯科検診を実施した補助として1名1種につき1,000円の補助を行った。 | 私立幼稚園2園に対して、内科健診及び歯科健診を実施した補助として1名1種について1,000円の補助を行った。 |
| 小中学校における児童生徒の健康づくり | ○小中学校健康管理事業(定期健康診断の実施) | 学校教育 | H17～21 | 定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。 | 定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。歯磨き指導を各園で行った。 |
| | ○健康教育の推進 ・エイズに関する指導を含む性教育の推進 ・喫煙、薬物乱用の防止等、健康に関する課題への対応 | 学校教育 | H17～21 | 各学校で学習指導要領に沿った指導計画に基づいて指導した。エイズ年1回、性教育年3～4回 小学5、6年から中学3年までの授業で実施 年1回以上 | 各学校で学習指導要領に沿った指導計画に基づき指導を行った。エイズ指導1回、性教育3～4回。喫煙・薬物乱用の防止等、健康に関することについては、小学5・6年～中学3年までの授業で1回以上行った。 |
| 学童期の健康づくり 訪問指導の推進 | ○小児生活習慣病予防事業「親子骨貯金教室」(☆) | こども福祉 | H17～21 | 保護者の参加率 12.4% 骨粗しょう症を知る児童の割合 7.5% 目標:保護者参加率50%、児童の骨粗しょう症を知る割合95% | 保護者の参加率 25% 骨粗しょう症を知る児童の割合 70.8% 目標:保護者参加率50%、児童の骨粗しょう症を知る割合95% |
| | ○「未来君」の食生活支援事業(6年生に調理実習)(☆) | 健康介護 | H17～21 | 普賢寺小学校 2学年(5.6年)32名 保護者 3名 計 35名 | 薪小学校 2クラス(6年) 61名、普賢寺小学校 2学年(5年・6年) 29名 保護者10名 延べ100名 目標: 年2校 |

◎ 展開する事業群(1-1-3)

| | | |
|--------|-----|----------------------|
| 基本目標 | 1 | 子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり |
| 施策目標 | (1) | 母と子の健康づくり支援 |
| 基本施策分野 | ③ | 食育の推進 |

| 事業名称 | 事業内容(細事業) | 担当課 | 事業年度 | 18年度実績 | 17年度実績 |
|-----------------|----------------------------------|-------|--------|--|---|
| 栄養改善教育事業 | ○パパママセミナー(栄養・調理編) (再掲1-(1)-①) | こども福祉 | H17～21 | (再掲1-(1)-①) 参加者延べ48人 | (再掲1-(1)-①) 参加者延べ45人 |
| | ○離乳食教室(前期・後期) | こども福祉 | H17～21 | 前期 573人 後期 543人 | 前期 580人 後期 549人 |
| | ○幼児食の指導相談 | こども福祉 | H17～21 | 実施数 574人 | 実施数 572人 |
| | ○お弁当教室 | こども福祉 | H17～21 | 2園 87組 | 2園 63組 |
| | ○親子骨貯金教室 (再掲1-(1)-②) | こども福祉 | H17～21 | (再掲1-(1)-②) | (再掲1-(1)-②) |
| | ○「未来君」の食生活支援事業 (再掲1-(1)-②) | 健康介護課 | H17～21 | (再掲1-(1)-②) | (再掲1-(1)-②) |
| | ○男性週末クッキング教室 | 健康介護課 | H17～21 | 申込者 28人 参加者 全5回 延べ 127人 年齢 48歳から80歳 (平均61.9歳) | 申込者 22人 参加者 全5回 延べ 86人 年齢 31歳から71歳(平均 60歳) |
| 保育所、学校における食育の充実 | ○保育所給食等における食育の指導の充実 | こども福祉 | H17～21 | 行事食の実施・展示食の実施・給食だよりの発行・食と生活リズムのアンケート実施・食育媒体の作成 | 行事食の実施 展示食の実施 食と生活リズムのアンケート 給食だよりの発行 |
| | ○学校給食等における食育の指導の充実 | 学校教育 | H17～21 | 学校栄養職員3名による食に関する指導を各小学校巡回して行った。各小学校2回/年 担任より教科、特別指導、給食時において常時指導を行った。 | 学校栄養職員2名による食に関する指導を各小学校を巡回して行った。年間2回。担任より教科、特別活動、給食時において常時指導を行った。 |

- ◎ 食育 食に関する教育をさすが、単に望ましい食習慣のための知識を身につけるだけでなく、食卓での一家団らんを通じて社会性を育んだり、わが国の食文化を理解したりすることも含む幅広い教育を含む。

◎ 展開する事業群(1-1-4)

| | | |
|--------|-----|----------------------|
| 基本目標 | 1 | 子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり |
| 施策目標 | (1) | 母と子の健康づくり支援 |
| 基本施策分野 | ④ | 思春期からの健康づくり支援 |

| 事業名称 | 事業内容(細事業) | 担当課 | 事業年度 | 18年度実績 | 17年度実績 |
|--------------------|---|-------|--------|---|---|
| 思春期～青年期の健康づくりの支援 | ○思春期保健学習会(★) | こども福祉 | H17～21 | 平成18年度のみ未実施 | 養護教員を講師に招き研修会及びグループワークを行った。1回 |
| | ○性に関する啓発事業(エイズパンフレット配布) | 健康介護 | H17～21 | エイズに関する予防啓発パンフレットを成人式で配付600部 | エイズに関する予防啓発パンフレットを成人式で配付。600部 |
| 思春期子育てセミナーの開催 | ○思春期子育てセミナー(再掲1-(2)-①) | 社会教育 | H17～21 | (再掲1-(2)-①) 実施日:9月8日 場所:中央公民館 参加人数:46名 | (再掲1-(2)-①) 3回実施 参加者数 64人 |
| 小中学校における児童生徒の健康づくり | ○健康教育の推進 ・エイズに関する指導を含む性教育の推進 ・喫煙、薬物乱用の防止等、健康に関する課題への対応 (再掲1-(1)-②) | 学校教育 | H17～21 | (再掲1-(1)-②)各学校で学習指導要領に沿った指導計画に基づいて指導した。エイズ年1回、性教育年3～4回 小学5,6年から中学3年までの授業で実施 年1回以上 | (再掲1-(1)-②)各学校で学習指導要領に沿った指導計画に基づき指導を行った。エイズ指導1回、性教育3～4回。喫煙・薬物乱用の防止等、健康に関することについては、小学5・6年～中学3年までの授業で1回以上行った。 |

◎ 展開する事業群(1-1-5)

| | | |
|--------|-----|----------------------|
| 基本目標 | 1 | 子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり |
| 施策目標 | (1) | 母と子の健康づくり支援 |
| 基本施策分野 | ⑤ | 医療体制等の充実 |

| 事業名称 | 事業内容(細事業) | 担当課 | 事業年度 | 18年度実績 | 17年度実績 |
|------------|---|-------|--------|--|---|
| 乳幼児医療費助成 | ○就学前児童の医療費に係る一部負担金を助成 (再掲2-(1)-⑦) | 子ども福祉 | H17～21 | (再掲2-(1)-⑦) | (再掲2-(1)-⑦) |
| 医療体制の整備・充実 | ○休日応急診療所事業の推進 | 健康介護 | H17～21 | 年間70日開設 受診者数 876人 6歳以下420人 7歳～15歳以下114人 16歳以上 342人 1日平均受診者数12人 | 年間69日開設 受診者数 843人 6歳以下 421人、7歳～15歳 115人、16歳以上 307人、1日平均受診者 約12人 |
| | ○地域医療体制の充実 (病院群輪番制・八幡市休日応急診療所) | 健康介護 | H17～21 | 病院群輪番制の利用 0人、八幡市休日応急診療所の利用 13人・府事業として、平成17年1月より、小児救急電話相談事業、平成17年10月より、小児救急医療体制(山城北保健所管内は、宇治徳洲会病院・第二岡本病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられた。その他府の救急医療情報システムの活用をしていく。 | 病院群輪番制の利用 1人、八幡市休日応急診療所の利用 10人・府事業として、平成17年1月より、小児救急電話相談事業、平成17年10月より、小児救急医療体制(山城北保健所管内は、宇治徳洲会病院・第二岡本病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられた。その他 府の救急医療情報システムの活用をしていく。 |
| 関係機関との連携強化 | ○関係機関との連携強化 (京都府保健医療計画における医療体制等の充実要請等) | 健康介護 | H17～21 | 京都府保健医療計画については、5年ごとの見直しがされており、次回は平成19年度の予定。 休日・夜間・二次医療の整備を京都府が計画していくことを課題とし、市としては、近隣市町村と協力的な体制づくりを府と共同実施していく。 | 京都府保健医療計画については、5年ごとの見直しがされており、次回は平成19年度の予定。 休日・夜間・二次医療の整備を京都府が計画していくことを課題とし、市としては、近隣市町村と協力的な体制づくりを府と共同実施していく。 |